

みんなの町議会



人と社会を豊かにする
熱いものづくり

議会構成	2
一般質問	4
補正予算質疑	9

スタート!

令和7年 新年のご挨拶



議長 橋本 輝久

新年明けましておめでとうございます。

平素は、議会に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。
令和6年12月から、新しい議会体制でスタートいたしました。

議会の機能充実や行政に対するチェック機能も重要となり、町民皆さまの負託に応えていかなくてはなりません。

昨今の社会情勢は、少子高齢化に伴う諸課題や物価高騰など大変厳しい生活環境で

あります。神石高原町は、独自の発想で他自治体に負けない取り組みを行っていかねばなりません。民間の力を十二分に発揮できるよう環境整備を図り、支援体制を確立していくことが、将来につながる有効手段と考えます。

何卒、町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



総務文教常任委員会

委員 橋本 輝久 委員 柏床 由夫 委員 藤井 潤子 委員長 小川 善久 副委員長 林 憲志



議会運営委員会

委員 山本 喜久 委員 横尾 正文 委員長 久保田龍泉 副委員長 柏床 由夫 委員 上原 伸一

新メンバーを加え



議長 橋本 輝久
副議長 寄定 秀幸

監査委員

木野山孝志（代表監査）
柏床 由夫（議会選出）

福山地区消防組会議会議員
小川 善久

広島県後期高齢者医療広域連合
会議会議員
久保田龍泉

広島県水道広域連合企業団
会議会議員
寄定 秀幸

議員歴

橋本 輝久	5	期
寄定 秀幸	6	期
久保田龍泉	4	期
横尾 正文	4	期
林 憲志	3	期
小川 善久	3	期
柏床 由夫	2	期
山本 喜久	1	期
藤井 潤子	1	期
上原 伸一	1	期



産業建設常任委員会

委員 山本 喜久 委員 寄定 秀幸 委員長 横尾 正文 副委員長 久保田龍泉 委員 上原 伸一



議会広報常任委員会

委員 上原 伸一 委員 藤井 潤子 委員長 小川 善久 副委員長 柏床 由夫 委員 林 憲志

一般質問

質疑の一部を要約
してお伝えします



問 農業後継者・農地の
荒廃対策は
かみはら しんいち
上原 伸一 議員

答 農業後継者の育成に
取り組む

を増やし週末農業や※半農半Xの方法も検討する。

問 後継者が、生計を立てることが最重要項目である。具体的なモデルは。

答 産業課長 生産コストを価格に反映し、収入を増やすことで、町で農業したいと思える環境整備に取り組む。

介護支援

問 介護世代への具体的な支援は。

答 町長 町では介護者が不安を抱えず生活できるよう様々な支援を行っている。

不安や対応についての窓口の案内やケアマネジャーを中心とした専門職による個別対応をし、介護保険制度やサービスの利用例、町内の事業所情報を広報誌とホーム

ページで発信し情報を得やすい環境を整えている。

さらに、家族介護者向けに、『健康に関する基礎・介護の負担軽減』をテーマとした講座を各居宅介護支援事業所に委託し、知識や安心感を伝え、介護者のリフレッシュ研修も行っている。

問 メンタル相談や介護相談に対する新たな支援は。

答 町長 各種情報発信や、ひきこもりに関する相談や研修を強化するとともに、ひきこもりの家族会の設置を検討している。

※半農半Xとは
半分農業で食べていくための自給自足の生活を送りながら、もう半分で自分の好きなことややりたいこと、やりがいのある仕事をする生き方



問 中学校クラブ活動の
地域移行は
ふじい じゅんこ
藤井 潤子 議員

答 地域の実情に応じ検討

問 中学校クラブ活動の地域移行の構想は。

答 教育長 休日の部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めるため現在、関係課および学校と連携し、協議等を行っている。

と一緒に参加できる活動など選択肢のひとつとして考えている。

ふるさと納税

問 町への寄附金と自治振興会への寄附内容は。

答 町長 町への寄附金は、令和5年度では、2146件2660万円超あった。
5つの自治振興会へ8件48万円超あった。

や農業用機器のメンテナンス費用、夏祭りの費用の一部などで活用されている。

問 ふるさと納税の仕組みを理解いただき、町外の関係者に伝わるよう発信してみては。

答 未来創造課長 自治振興会長などに周知している。制度を活用し地域の発展に役立ててもらいたい。

子育て支援事業

問 るるん教室やわくわくランドの取り組み内容は。

答 町長 「親子での遊び」を中心に子どもの発育・発達を促し、育児不安を軽減することを目的として専門スタッフが親子へ意図的な関わりや親同士の交流を図っている。

問 今後の構想内容は。

答 教育長 体験教室やレクリエーション的な活動や複数の種目を経験できる活動、地域の方

問 自治振興会の寄附金の使途は。

答 未来創造課長 地区で行う草刈りの費用

一般質問

問 有害鳥獣のイノシシは、年間1650頭余りの捕獲数が4年間続

答 町長 所有者が町外の維持管理が行われず、有害鳥獣の棲み家になっている事は承知している。全て解消する事は人的にも非常に困難である。

問 空き家の数1252戸に付随した農地もあり、有害鳥獣の温床となっているが対策は。

問 荒廃地の有害鳥獣対策は
やまもと よしひさ 議員
山本 喜久



答 荒廃地全てを解消する事は困難

いている。駆除だけでなく環境整備とあわせて対策を行う事が荒廃地対策にも繋がると思うが、取り組みは。

答 町長 令和6年4月から広島県鳥獣対策

等地域支援機構、通称「テグス」のフィールドアドバイザーが常駐し、電気牧柵の適切な設置の指導・果樹の取り残しの伐採指導や、住民からの相談受付業務を行なっている。

ネーミングライツ
(命名権)の取り組みは

問 多くの公共施設を保有している。

民間事業者の機会を拡大するとともに公共施設の維持経費の財源確保にもつながるのでは。

答 町長 公共施設の維持管理費は、増加傾向にある。ネーミングライツの導入は、令和6年度、油木地区に整備を行うサッカー場に導入の準備を進めている。状況を

見て他の施設へも検討する。

問 公共施設数と維持経費、老朽化施設の解体費は。

答 総務課長 施設数520か所、維持経費9800万円、解体費概算で4億5000万円である。

問 ネーミングライツを事業者に地域貢献の一環として公募しては。

答 総務課長 地域貢献型として検討したい。



捕獲したイノシシ

問 農業者・農業経営団体への支援は
かしわとこ よしお 議員
柏床 由夫



答 収入保険の掛金補助を来年度予定

問 トマトを生産する場合、年間の標準的な経営指標がないと興味がわかないし、就農する意欲もわかないのでは。

答 産業課長 現在試算は行っている。物価

高騰により初期投資に多額な資金が必要となるため、経営指標が示せない。

問 本町の農業課題は。

答 産業課長 町内14集落法人も現在後継者

問題をかかえている。法人の連合体を作り支援しあう仕組みづくりも必要になってくる。

問 ここ数年の異常気象などで、農業収入が不安定になっている。

経営安定に向け収入保険の掛金補助の考えは。

答 産業課長 農家から要望を多く聞いているので、新年度、取り組む予定である。

答 町長 農業では、県主催の農業フェアへの参加や県立農業技術大学校へのPR活動の実施、町公式SNSなどで後継者確保へと繋げたい。



令和4年 最後の新規就農となった黒木谷トマト団地

問 畜産農家も経営状況は厳しい。牛肉の消費離れも進み大変な状況にある。また、牛1頭1日当りの餌代は、6年前と昨年の比較をすると1.85倍になっている。県の配合飼料価格高騰緊急対策事業の補助を受けるには、畜産農家は基金制度に加入が必要だ。また、子牛価格も低迷している。支援の考えは。

答 町長 県の支援のほか、畜産協会と連携し、支援を考えたい。

問 遊休施設の管理は

おがわ よしひさ 議員
小川 善久



答 各支所で施設を管理

問 町所有施設の管理状況の把握は。

答 町長 各支所が管轄の施設を管理している。民間事業者などへ貸付を行っている施設は、使用者が日常の維持管理を行っている。

未使用の施設は、維持管理費がかからないので、残置している。

問 各支所へ入居する団体の事務所の活用は。また、旧庁舎や旧町立病

院の利用計画は。

答 町長 各施設とも維持管理費が生じていないが、施設の有効活用を図るため、今後、民間企業への貸付や処分などを進めていく。

旧本庁舎は、書庫兼倉庫として活用している。旧町立病院は、解体に相当な費用がかかるので、民間活力の導入を含めた改修による活用策について検討中。

問 旧町立病院の解体費用は、5億円以上か

かり、必要な施設に建て替える場合は、補助金などの財源も考えられるが、解体するだけならすべて一般財源で賄わなければならない。

問 民間活力の導入をどのように進めるのか。

答 健康衛生課長 解体を含め、全て民間で、という事にはならないと考えている。

住民が要望する機能を含めて、コンサルタント

に意見を求めている。

問 引きこもりの方など、精神疾患でお悩みの方が働ける就労移行や就労継続支援施設A型で水耕栽培を行う野菜工場を考えては。これなら、国からの交付措置も受けられるのではないかと。

答 総務課長 先ずは、建物の現状の評価をして、そのスケールに合った利用に対し財源の調達を含めて、本当に将来的に町民が求める施設とは何かという事を絞り込みたい。

問 特定事業組合で事業承継支援を

はし けんじ 議員
林 憲志



答 事業者へ周知し要望を確認する

問 し、移住者や希望者へ、事業承継につなげる取り組みが必要と考えるが。

答 町長 特定事業組合から派遣を行うには、組合へ登録するか、組合外企業として割増料金を支払いたい。

町商工会とも情報共有を行い、組合の制度について、今一度町内事業者へ周知を行い、要望があれば支援をしたい。

問 地域、歴史や文化、自然環境、生業を学ぶ教育は、将来、地元で暮らす人材育成にどうつながるか。

答 教育長 将来社会で活躍し、「神石高原

給食費
無償化実現を

問 昨年11月の選挙戦で町長は無償化を検討するとの演説があつた。来年度からの給食費無償化実現は。

答 町長 学校給食費無償化については、国・県の動向や町の財源を踏まえスピード感を持って検討する。現在、保護者負担は食材費のみで、調理や運搬費は町が負担している。無償化には約2300万円の追加予算が必要だ。当面は、高原ランチや有機野菜活用の食育支援、物価高騰に伴う値上げ分の支援など、子育て支援策を継続する。

問 縮充社会の具休像は

縮充社会の具休像は

問 縮充社会構築は、人材やインフラなどの偏在で地域間格差を生む恐れがある。縮充社会が周辺地域の切り捨てにならないか、町の考えは。

答 町長 充実した地域社会を目指すには、合意形成が重要であり、住民が自分事として未来を捉えることが必要だ。

問 将来本町で暮らす為の教育の推進を

将来本町で暮らす
為の教育の推進を

問 地域の歴史や文化、自然環境、生業を学ぶ教育は、将来、地元で暮らす人材育成にどうつながるか。

答 教育長 将来社会で活躍し、「神石高原



道の駅「さんわ182ステーション」に派遣された、特定事業組合社員の後藤賢司さん。

問 選挙結果では対抗馬の方の票数が645票、無効票が115票もあり、批判票という声がある。見解は。

答 町長 真摯に受け止めて、町民の声を聞き、町政に反映させていく。ただ私への票数が圧倒的に多かったという事実もあり、今の取り組み、考え方についてすべてとは言えないまでも、多くの方に共感を頂いていると思う。

問 選挙結果についての見解は

よこ お まさふみ
横尾 正文 議員



答 町民の声を聞き町政に反映する

コロナワクチン接種

問 医療関係者から安全性と倫理性に関する懸念が出ている「レプリコンワクチン」の接種が10月から始まっている。町の対応は。また従来のコロナワクチンについても町として情報収集をし、情報の発信ができないか。

答 町長 「レプリコンワクチン」は町内医療機関では、現時点では使用する予定はない。ホームページなどで情報公開する。

問 従来のコロナワクチンについても説明を受け、納得したうえで、同意が必要と思うが、今後の対応は。

答 健康衛生課長 法律に基づいて予診票や説明表を活用して、詳しい説明を行っている。

強い防災力を

問 防災対応が進んでいない。早めの対応が必要と思うが、今後の対策は。

答 町長 自主防災組織や自治振興会など活動の強化、人材育成を進めていく。

森林環境譲与税

問 森林環境譲与税を人材育成に活用しては。

答 町長 重要インフラ施設周辺や主要道付近の山林整備を行う。また山林の適切な管理も必要であると考えており、伐採後の植林への補助及び町内林業関係者の育成や安全対策に活用する。



草木地域で導入される防災アプリ

問 学校給食の無償化は

く ぼ た りゅうせん
久保田龍泉 議員



答 検討するが新年度は困難だ

償化すればさらに約2300万円必要となる。国、県の動向に注視しながらスピード感をもって検討するが、新年度は難しい。

ふれあいタクシー

問 600円に見直しされた医療機関通院の反響は。

また、町外利用で半額助成などできないか。

答 町長 通院時の利用料金の負担軽減は皆さん大変喜んでおられる。令和6年度行った行政懇談会で、歯科医院利用時の引き下げについて要望があり来年度引き下げの予定だ。

答 町長 高原ランチや有機野菜の活用など、保護者の経済的負担を軽減するため令和4年度から値上げ分の支援などを継続している。

農作業受委託

問 農業法人の組織再編はどのようにするか。

米作りができない農地の維持は農作業受委託を農業公社に委託できるか。楽天ファームが撤退する話を聞いた。農地が荒れることが心配されるが対応は。

答 町長 どの法人を再編するか未定だが、農業振興協議会で議論を深め、令和7年度で方針を示す。

農業公社への作業委託は原則可能である。楽天ファームは撤退するが、農地の利活用は有機農業を進める企業と協議をしている。



永野南の楽天ファーム耕作地



問 防災・減災インフラ整備は

よりさだ 寄定 ひでゆき 秀幸 議員

答 国土強靱化地域計画により推進

問 激甚化・頻発化する自然災害への対応は重要である。防災力強化への取り組みは。

答 町長 災害対策を的確に実行するには、平時から関係機関や自治体間の連携が重要である。本町に本部を置く、ピースウィンズ・ジャパンと連携し災害に備えた取り組みを進める。

問 公共インフラの整備、強靱化への取り組み

は。

答 町長 「国土強靱化地域計画」に基づき

次期5年間の計画を進めており、公共施設の耐震化や修繕、再編や長寿命化、老朽化が進む上水道施設の改良や、し尿処理場の適切な維持管理と修繕、ため池や河川の改修を推進する。

また、老朽化した橋梁やトンネルの点検・修繕を行う。

問 学校体育館は、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担う。

空調整備をすべきでは。

答 総務課長 財源確保など検討したい。

問 地域や家庭の防災・減災意識の啓発は。

答 町長 広報による啓発や自主防災組織に対する研修会・防災訓練

など地域の防災意識の普及啓発に取り組んでいる。防災士の育成に向け研

修会を実施し新たな体制を構築する。

問 女性目線の防災力強化は。

答 町長 防災会議や避難所運営など、女性の視点が反映できる環境づくりに努める。

問 国の「防災庁」設置方針への見解と本町の体制整備は。

答 町長 人員体制が強化され自治体との連携強化が期待される。

本町の防災体制については、国・県の動向を注視し、必要な体制の確保を進める。

問 国が「防災庁」設置方針への見解と本町の体制整備は。

答 町長 人員体制が強化され自治体との連携強化が期待される。

本町の防災体制については、国・県の動向を注視し、必要な体制の確保を進める。



準基幹避難所となる、学校体育館

全会一致

議員発議

核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を日本政府に求める意見書

核廃絶を求める声は高まりを見せており、核兵器禁止条約は発効から3年が経過し、締約国は73か国に達している。日本はこの条約に対し、批准をしていないが、「核廃絶の出口にあたる重要な条約である」と高く評価している。未批准国もオブザーバーとして参加する権利があり、オブザーバー参加は世界的な広がりを見せている。

唯一の戦争被爆国である日本には、核保有国と非保有国との橋渡し役を担い、核兵器廃絶をリードする責務がある。また、締約国の中には過去に核実験が行われた国もあり、こうした国の被爆者への医療支援などに、日本の様々な知見や経験を役立てることもできる。

国におかれては、核廃絶の議論を進めるため、2025年3月の締約国会議にオブザーバー参加されるよう強く要望する。

提出者 寄定 秀幸
賛成者 柏床 由夫

補正予算質疑



俵原池

ため池改修工事の
財源は

柏床議員

ため池整備事業・俵原池
改修工事の財源内訳に、地
元負担が経常されていない。
町の負担は。

建設課長

ため池の堤体が崩れかけ
ているため、町道が通行不
能になるおそれがあり、町
の負担で改修をする。



小規模崩壊地復旧事業（木津和地区）

小規模崩壊地の
財源は

柏床議員

小規模崩壊地復旧事業の
財源内訳、その他の財源の
減額理由は。

建設課長

今年度は4か所の工事を
予定しているが、分担金の
必要な山腹工が1か所ある。
山腹工の実設計金額が
当初よりも少なくなったた
め、金額も減少した。



災害の兆候を把握し 被害防止に努める
広域農道 法面調査

長寿命化対策経費

林議員

道路法面のドローンによ
る撮影でどんな検証効果が
あるか。

建設課長

広域農道法面調査では、
目視検査に加え、広範囲を
効率的に点検するためド
ローン撮影により法面全体
の状態を記録し、安全性を
より詳細に把握することを
目的としている。

窓口申請
支援システム導入

林議員

マイナンバーカードの導
入による個人情報漏洩の危
惧は。

未来創造課長

マイナンバーカードを利
用した窓口申請支援システ
ムのサービスは、住民情報
が入っているシステムと連
携していないので心配ない。

産廃処理場の影響は

横尾議員

大矢地区の飲料水給水ポ
ンプの修繕は、近くに産業
廃棄物処理場があるが、水
質に問題はないか。

健康衛生課長

この施設は、処理場に近い場所であるが、検査の結果問題ない。

12月補正予算

一般会計補正予算額

1億6848万円

一般会計補正後予算現計

128億2715万円

(四捨五入)

非常備消防一般管理経費

3385万円

退職報償金
対象者70人分など

企業版ふるさと納税

4000万円

福山シティーFCへの
交附金

公共土木施設災害復旧費

1144万円

台風10号災害・
11月豪雨災害の復旧

こんなことがきまったよ

主なもの

消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正

年報酬の改正：近隣市町の報酬を参考に改正し、個人支給とする

火災・風水災などの出動で8時間未満の場合3,300円/回

8時間以上の場合8,000円/回



神石高原町政策審議監の設置に関する条例の制定

職務内容：①日本スカウトジャンボリー大会に関すること

②縮充のまちづくりに関すること

その他、各種施策やプロジェクト推進に関する情報収集・分析、

指導や助言、関係機関との連絡調整



財産の取得

物品名：消防団新型活動服 650着

契約金額：1856万円

契約者：おしゃれ衣料フクマン

納期：令和7年3月31日



工事請負契約の変更

工事名：油木スポーツ広場サッカー場建設工事

請負金額：3億4980万円を3億6575万円に変更

理 由：防球ネットの減、側溝工の増

請 負 者：村上建設株式会社

殺虫灯の増ほか

工 期：自令和6年9月5日 至令和7年3月31日



人事案件

■選任の同意

副町長 瀬尾 浩康

監査委員 木野山孝志

監査委員 柏床 由夫

■任命の同意

教育委員会委員 本多 博志

教育委員会委員 高石 元子

選挙管理委員会委員

川上 晃生 米山 文子

小坂 依文 加古川裕一

選挙管理委員会補充員

岡崎 謙 赤木まゆみ

小寺 達司 若林 仁

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

●クイズ当選者人数を増やして！
(福永)

(福永)

●毎月広報・町議会紙を楽しみに
読んでいます。町内の人口が毎
月減少し淋しく思っています。

(小島)

●企業誘致・レジャー施設などを
町としてもっと積極的に取り組
んでほしい。追伸・クイズに参
加していますが、応募者を明ら
かにして下さい。
(上豊松)

(上豊松)

●何処に行くにもタクシーを利用
しています。用事が10分〜20分
で済む時帰り半額になると助か
ります。
(福永)

(福永)

●温度差の変わりやすい今日のこ
頃です。御身体には充分気を付
けられて、頑張ってください。
(高光)

(高光)

●子育て支援も良いことだと思い
ますが、高齢者の支援、特に働
きやすい環境の整備をお願いします。
(相渡)

(相渡)

●格高騰重点支援給付金の支給の
検討をお願いします。条件につ
いても検討を期待しています。
最低限での検討をお願いします。
(小島)

(小島)

●あれから4年、早いですね。今
年も11月には選挙…。皆さん、
来年はいろいろの問題が山積に
ありますね。町長さんも大変と
思います。お疲れを出されな
いよう、町政に頑張ってください。
(油木)

(油木)

●4年間ご苦労様でした。神石高
原町の発展を心よりお祈りして
おります。
(父木野)

(父木野)

●町内の経済活性化対策について
議論してほしい。
(川崎市)

(川崎市)

●ぼくの地域でも秋まつりがあり
ます。今年はぼくも神祇をし
ます。
(相渡)

(相渡)

第63回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉
をいれてください

- 1 表紙写真 ○○工作所
- 2 一般会計補正予算額 1億○○○○万円
- 3 油木○○○○広場サッカー場建設工事

🔥 10月1日から はがきの値段が63円から85円に上がったよ!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見な
ども記入してください。(メールFAX可)

正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこう
げん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 神石高原町小島1701番地
神石高原町議会事務局「議会クイズ係宛」

●FAX 0847-85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和7年2月7日(金)消印有効
・メール 令和7年2月7日(金)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』など
の目的以外には利用いたしません。



クイズの答え

- ①God's(ええ)サウンド
- ②タブレットを活用した
(学習評価)は
- ③その名も高き神(石牛)

第62回 議会クイズ当選者

小島地区 山下 雅史さん
おめでとうございます!

三和協働支援センター

持続可能な 地域づくりをめざして

「自分たちの地域は自分たちで支える」という理念で設置された三和協働支援センターは9年目を迎えました。

センターでは、社会情勢の変化とともに多種多様化する個人や社会ニーズに応じて、3つの場づくりに努めています。

(つどいの場)

誰もが気軽に立ち寄り憩い、出会い、集える場

(まなびの場)

自らの興味関心に基づく学習、生活課題や地域課題の解決のための知識・技術の習得など自由に学び合える場

(むすびの場)

世代を超えた交流や各種機関・団体などと連携を図るつながる場です。

令和6年度は公民館教室として、新たに4教室を加えました。

また、「学習スペース」としてセンターの1室の開放も始めました。

地域応援事業としては、地域の皆さんを対象とした地域食堂「作って食べようランチの日」を取り組んでいます。

また、地域の賑わいづくり、地域コミュニティとして「毎月開催している「さんわフリマ」は、小さいお子様連れから、ご年配の方まで幅広い世代の参加があり、少しずつ地域に広がっています。

これからも、地域コミュニケーションの核として、各種団体などとの連携を図りながら持続可能な地域づくりに努めてまいります。



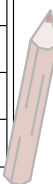
さんわふるさとフェア (来場者数 約1000人)



さんわフリマ

神石高原町も二十歳となりました。11月の議会議員選挙で今までと違った3人の個性が新たに加わりました。新しい視点、新しい発想で多様化する課題に対して一緒に臨める事を楽しみにしています。(善)

編集後記



表紙の紹介



フィリピンからの技能実習生、デ・アルフィーさんに技術を伝承する、神陽工作所の社長山口拓也さん。(右)

神石地区の神陽工作所さんは会社設立から56年。「人と社会を豊かにするものづくり、ひとり、ひとりの熱い思いが財産」というキャッチフレーズのもと、変圧器・変流器を製作。地域に根差し、高い技術力を武器に、会社の経営を続けられています。

議会広報常任委員会				
委員長	副委員長	委員	委員	委員
小川 善久	柏床 由夫	林 憲志	藤井 潤子	上原 伸一

■発行責任者 議長 橋本輝久
■住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-18913340
FAX 0847-18514201